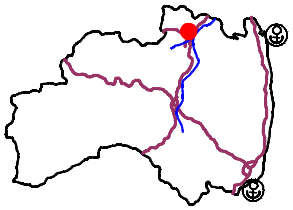
事業名	阿武隈川支川荒川　荒川右岸地区堤防整備

事業着手：平成21年度

事業の必要性・事業の概要

福島県



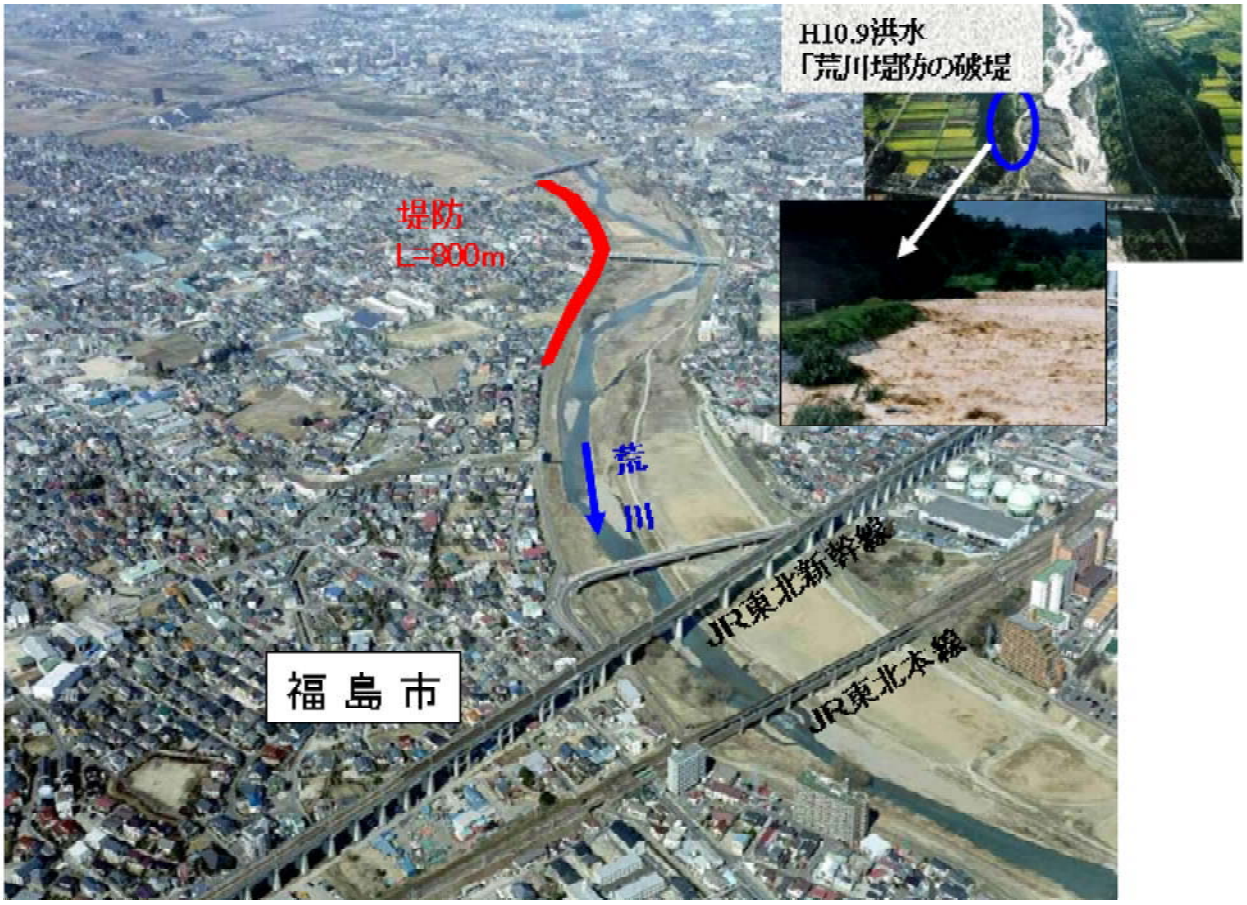
「事業の必要性」

阿武隈川支川荒川の当該地区については、堤防の高さが計画に対して低く、堤防としての機能が十分確保されていません。

一方、堤防の背後は人家連担であることや、福島市の都市軸である国道13号福島西道路やＪＲ東北新幹線、東北本線等の施設があり、荒川の氾濫は福島市へのダメージはもとより社会経済活動へ大きな影響を与えることから、当該地区の堤防の完成堤化を進めるものです。

「事業の概要」

堤防の拡築を実施し、治水安全度の向上を図ります。



平成21年度補正予算による事業内容

○補正予算を投入することで、荒川右岸地区の堤防の完成堤化を図ります。

事　業　効　果

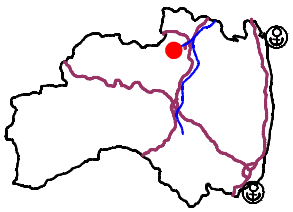
○補正予算を投入することで、これまで断面不足だった約 800m の堤防を完成堤化し、治水安全度の向上を図ります。

事業名	阿武隈川水系　火山砂防事業　荒川床固工群　（福島県 福島市）

事業着手：平成20年度

事業の必要性・事業の概要

福島県

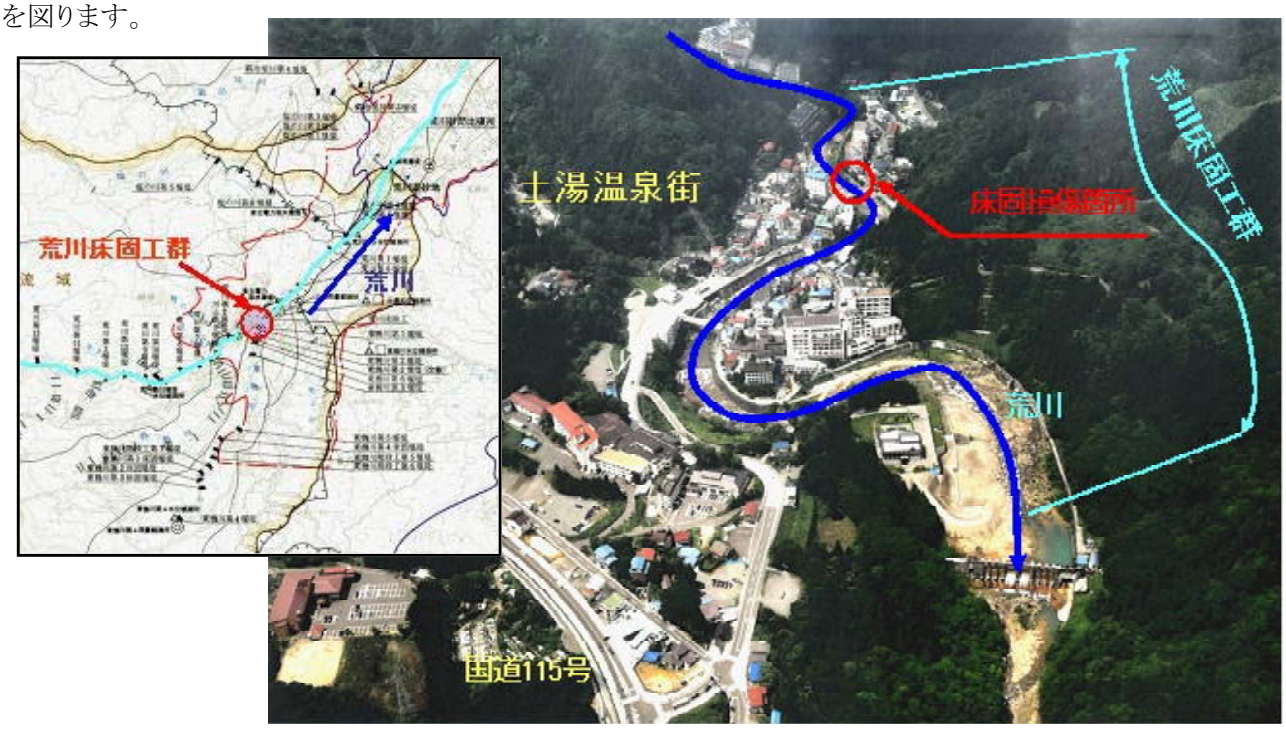


「事業の必要性」

阿武隈川水系荒川流域では、昭和11年より事業を開始し土砂災害防止のための整備を進めていますが、度重なる出水や老朽化により、施設の損傷等が発生しています。このため、施設の補修・改築をおこなう必要があります。

「事業の概要」

阿武隈川水系荒川流域において、福島市の土湯温泉街への土砂災害を防止するため、床固工群の補修、改築をおこない、河床の洗掘防止、河道の安定を図ります。





床固（石積流出箇所）



平成18年(2006)10月出水時の状況

平成21年度補正予算による事業内容

○床固工損傷箇所の補修・改築をおこないます。

事　業　効　果

○河床洗掘の防止、河道の安定化により、保全対象である土湯温泉街の土砂災害防止を図ります。

（ 新規・完成・主要 ）事業箇所（ 直轄・補助 ）事業

阿賀川（あがかわ）　佐野目（さのめ）地区弱小堤（じゃくしょうてい）対策の実施

福島県（ふくしま）湯川村（ゆがわ）

●安全で安心な地域づくり

事業の概要

阿賀川では堤防高及び堤防断面が不足している堤防が多く、平成１９年度末での堤防整備率は約３９％と低い状況です。平成１４年７月１１日出水では、はん濫危険水位に達する出水となり、湯川村佐野目地区の流下能力不足箇所の弱小堤防の解消を図るものです。

整備効果

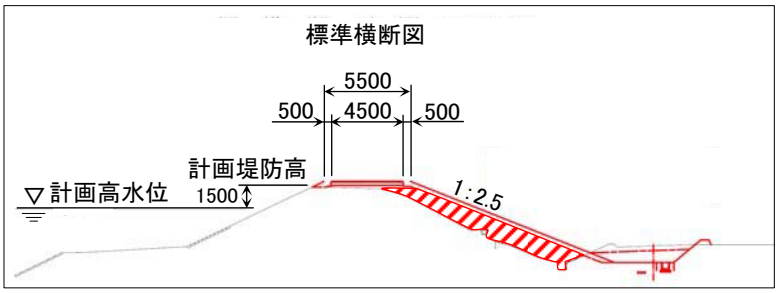
流下能力不足箇所の弱小堤防部の解消を図るとともに、治水安全度の向上を図ります。

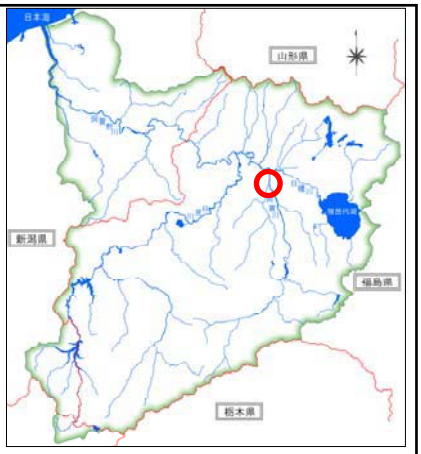
事業着手

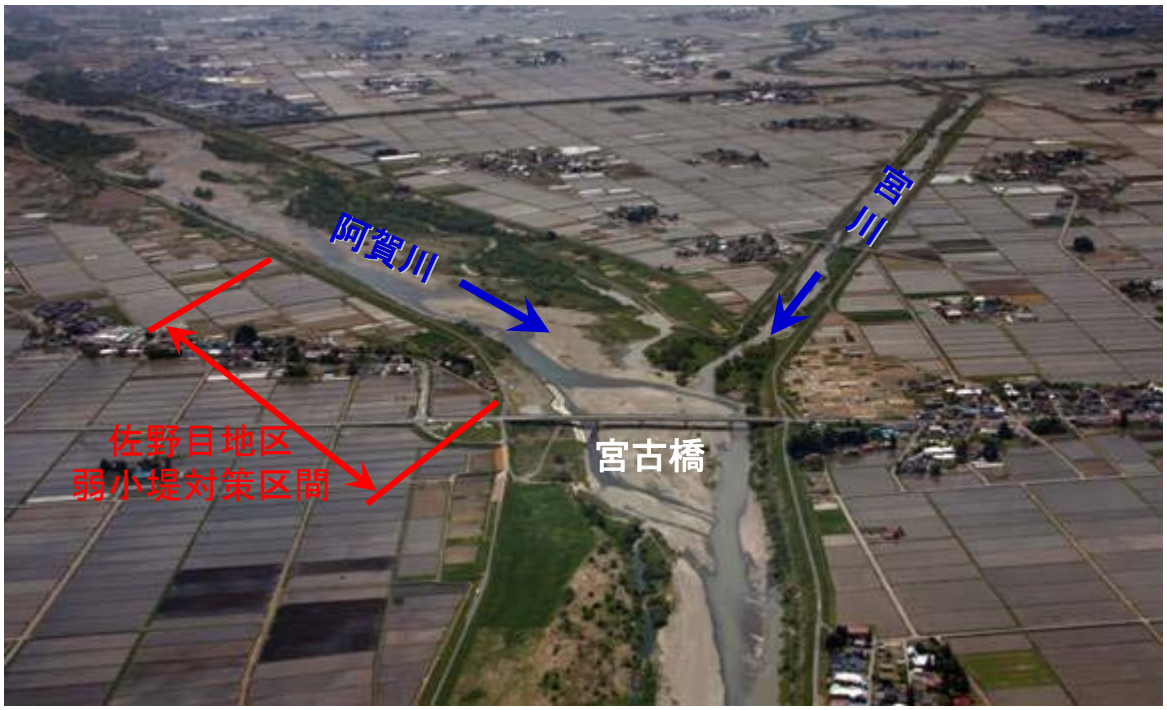
平成２１年度

平成２１年度補正予算の事業内容

用地取得及び築堤整備を実施します。





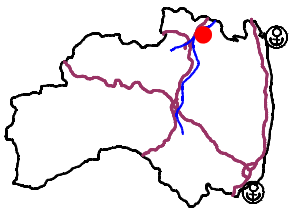


事業名	東北中央自動車道　福島JCT～米沢IC

事業着手：平成10年度

事業の必要性・事業の概要

福島県



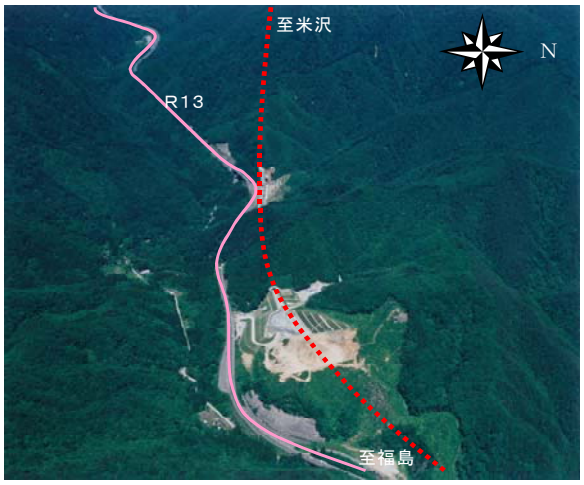
「事業の必要性」

東北中央自動車道は、南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより、緊急時における代替および迂回路等のネットワーク機能の強化のため、整備を進めるものです。

「事業の概要」

東北中央自動車道の福島JCTから米沢ICまでを整備するものです。





平成21年度補正予算による事業内容

○補正予算を投入することで、道路改良工事等を継続推進します。

事　業　効　果

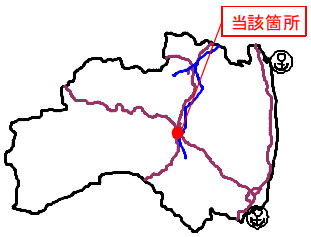
○自動車専用道路の整備により、福島～米沢両市間の所要時間を大幅に短縮します。

事業名	うねめ高架橋耐震補強

事業着手：平成21年度

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

管内の橋梁は昭和30～40年代に建設されたものが多く、大地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会、経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な震災対策が求められています。

「事業の概要」

国道4号のうねめ高架橋において橋脚補強等の耐震工法を実施します。





平成21年度補正予算による事業内容

○国道4号のうねめ高架橋において橋脚補強等の耐震工法を実施します。

事　業　効　果

○緊急輸送道路としての機能向上及び大規模地震時の安全性及び信頼性が向上します。

事業名	国道49号　三和（みわ）トンネル（直轄）　（いわき市）
事業着手：平成16年度	
事業の必要性・事業の概要	

「事業の必要性」

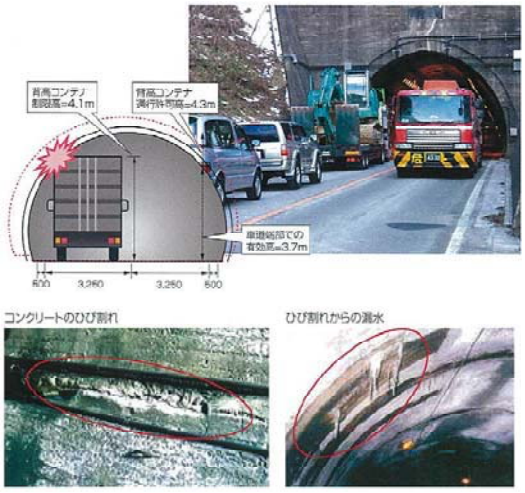
国道49号三和トンネルは、昭和37年に施工されたトンネルで、老朽化の進行が著しく道路防災上抜本的な対策が必要であるとともに狭隘であり、ISO国際規格背高海上コンテナ（9フィート6インチ）の通行に支障があり、重要港湾小名浜港と県南・県中地域を結ぶ物流ネットワークの強化が求められ、早急な対策が必要となっております。

「事業の概要」

国道49号三和トンネルは現トンネルの老朽化に加え、ISO国際規格背高海上コンテナの通行が不可能であり、これらを抜本的に解消し、重要港湾小名浜港と県南・県中地域を結ぶネットワークを強化し効率的な海陸一貫輸送の実現を図る事を目的として、別線ルートでの改良を行うものです。



▲三和トンネル路線計画



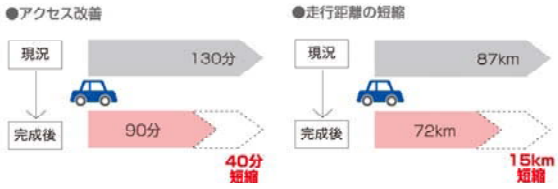
▲現三和トンネルが抱える問題

三和トンネルの整備効果

●所要時間、走行距離の短縮による物流の効率化

小名浜港から郡山貨物ターミナル等への背高コンテナ車が一般国道49号を利用できるようになると、現在ルートである「（主）いわき石川線と一般国道118号を利用するルート」よりも所要時間が130分から90分に、走行距離が87kmから72kmに短縮されます。

また、一般国道49号を通行することにより、冬期における通行支障箇所を避けることができ、交通の確実性が向上します。



●交通事故の減少

現在の三和トンネルの前後区間における勾配と比較して、約半分の勾配（現在i=5.0%、計画i=2.5%）に改善されるため、下り坂の自動車の速度超過が緩和され、追突事故と車両単独事故の減少が期待されます。

▲三和トンネルの整備効果

平成21年度補正予算による事業内容

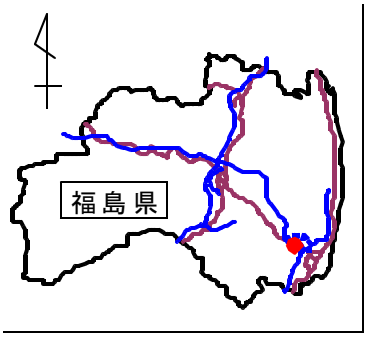
○補正予算を投入することで、改良舗装工事及びトンネル設備工事を推進し、平成23年度供用目標を前倒しし、平成22年度内の供用を図ります。

事　業　効　果

○重要港湾小名浜港と県南・県中地域を結ぶネットワークが強化され、物流の効率化が図られます。
○縦断勾配が改善され、交通事故の減少が期待されます。

事業名	国道49号　北好間（きたよしま）地区防災対策（いわき市）

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

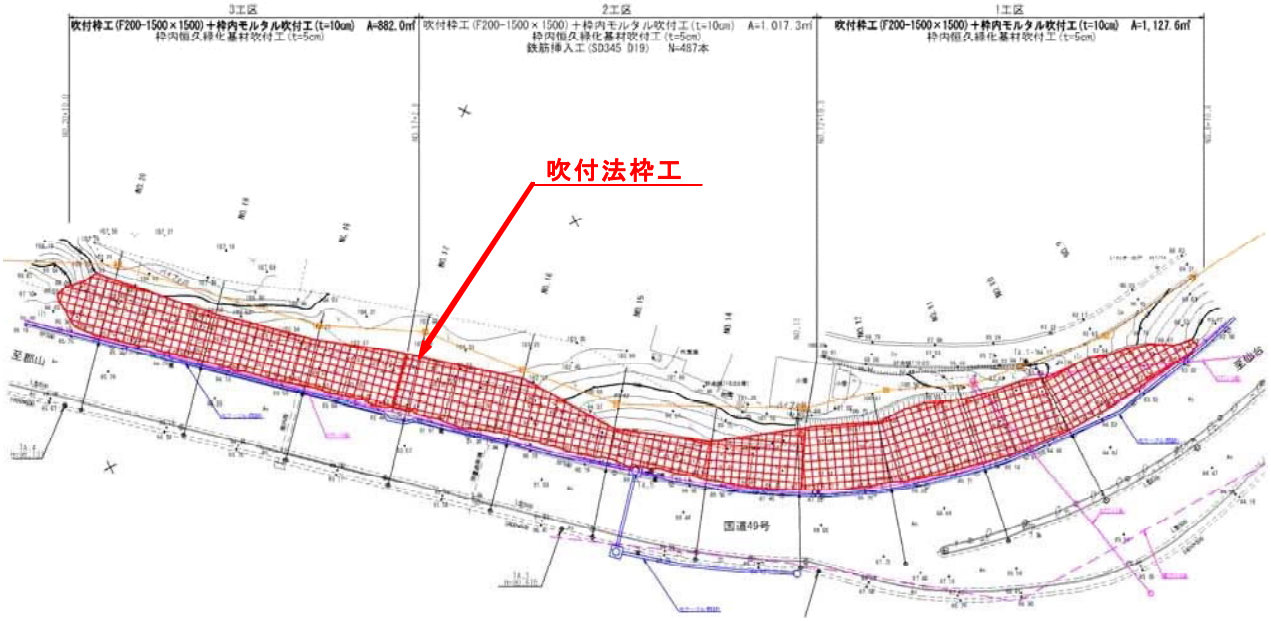
道路改築当時のモルタル吹付法面の風化が著しいなど、大雨時に被災の恐れがあり、対策が必要と判定されている箇所については、早急な防災対策が求められています。

「事業の概要」

国道49号いわき市好間町北好間地区は、モルタル吹付の亀裂や剥落片、背面の空洞化がみられるため、法面の防災対策を実施し、道路防災能力の向上を図るものです。



▲北好間地区の法面全景



▲北好間地区の防災対策図

平成21年度補正予算による事業内容

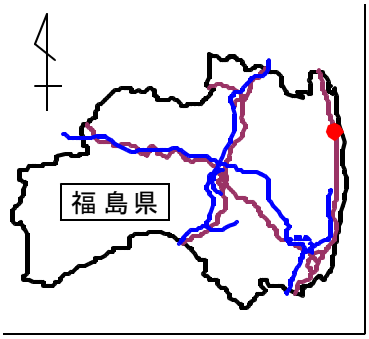
○国道49号のいわき市好間町北好間地区において、吹付法枠工及びロックボルト工などの法面工事を実施します。

事　業　効　果

○緊急輸送道路として安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されます。

事業名	国道6号　真野川橋（まのがわばし）耐震補強（南相馬市）

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

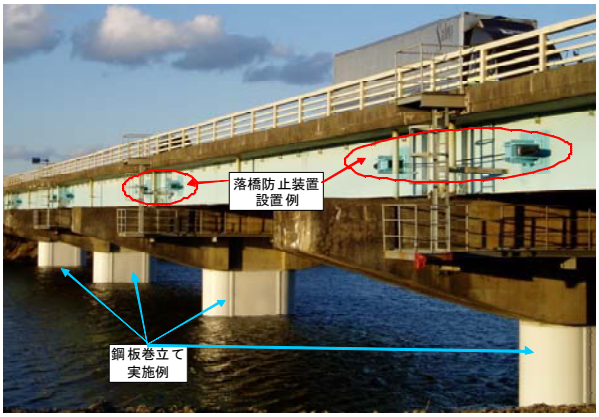
管内の橋梁は、昭和30～40年代に建設されたものが多く、今後高い確率で発生するとされている宮城県沖地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な震災対策が求められています。

「事業の概要」

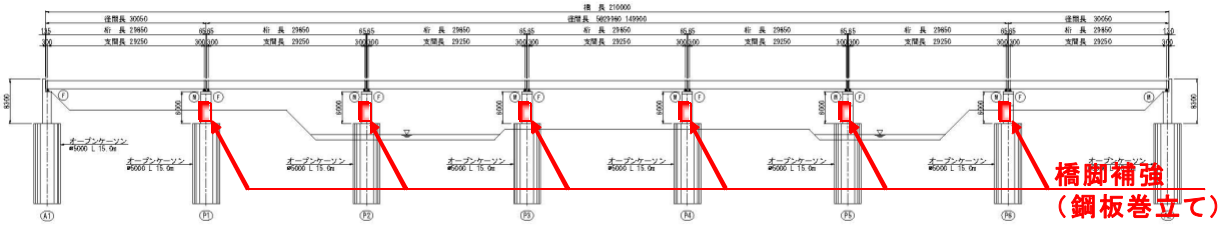
震災対策は、橋梁における地震による落橋を防止する装置の設置、巻立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るものです。



▲真野川橋の全景



▲耐震補強の実施例



▲真野川橋の耐震補強図

平成21年度補正予算による事業内容

○国道6号の真野川橋において、鋼板巻立てによる橋脚補強を実施します。

事　業　効　果

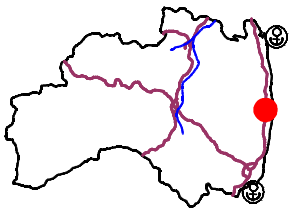
○緊急輸送道路としての機能向上及び大規模地震時の安全性及び信頼性が向上します。

事業名	国道6号　双葉（ふたば）地区付加車線設置（双葉町）

事業着手：平成21年度

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

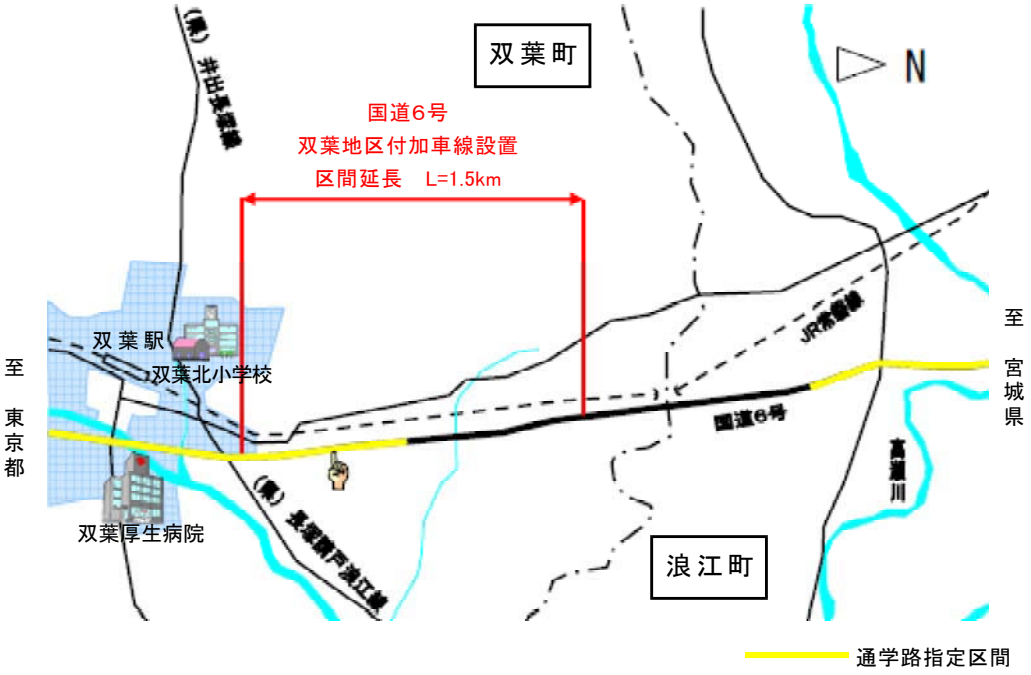
国道6号は、東京都中央区を起点に福島県の浜通りを縦貫し宮城県仙台市に至る延長約400kmの主要幹線道路である。

当該区間は、福島県双葉郡双葉町の中心市街地の北側に位置し、交通量が約20,000台／日と多い。また、前後区間を含め追越禁止区間となっており、追突による事故が多発している。

このため、国道6号に付加車線及び歩道を設置し、交通の円滑化及び交通事故の防止への対策を図ります。

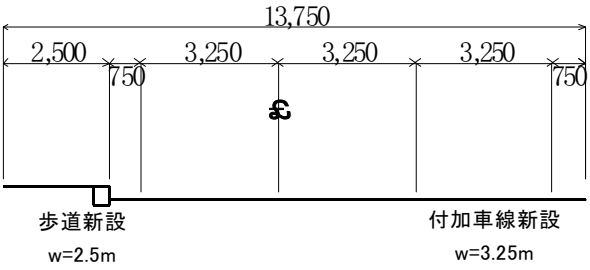
「事業の概要」

国道6号上り線側に付加車線、下り線側に歩道の新設をするものです。





▲現況写真



▲計画横断図

平成21年度補正予算による事業内容

○補正予算の投入により、付加車線及び歩道の整備に着手し、事業の完成を図る。

事　業　効　果

○付加車線及び歩道を新設し、安全で円滑な交通の確保を図る。

事業名	国道6号　情報BOX防災対策（いわき市～新地町）

事業着手：平成21年度

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

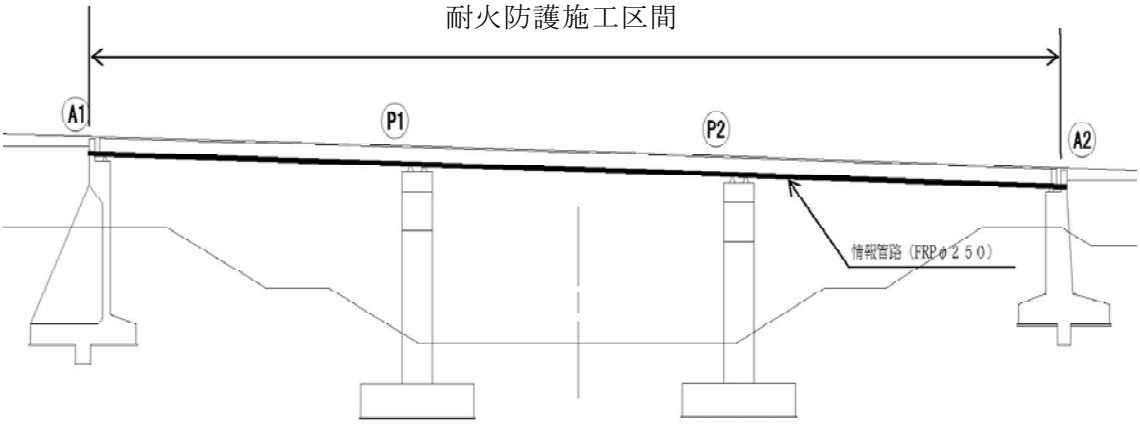
国道6号は東京都中央区を起点とし、太平洋沿岸の主要都市を経由して宮城県仙台市に至る、総延長430kmの主要幹線道路です。

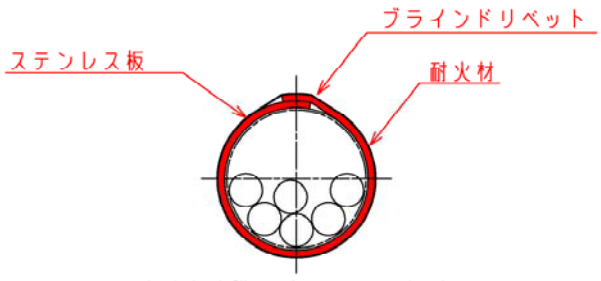
本事業は、国道6号に設置されている情報BOXに収容されている光ケーブルの信頼性を確保するために、橋梁部における情報BOXの耐火防護及び鍵の二重化を実施するものです。

「事業の概要」

国道6号いわき市から新地町までの情報BOXの防災対策を実施するものです。

【橋梁部における耐火防護実施例】





（耐火防護の断面イメージ図）

平成21年度補正予算による事業内容

○補正予算を投入することで、磐城国道事務所管内の整備を完了します。

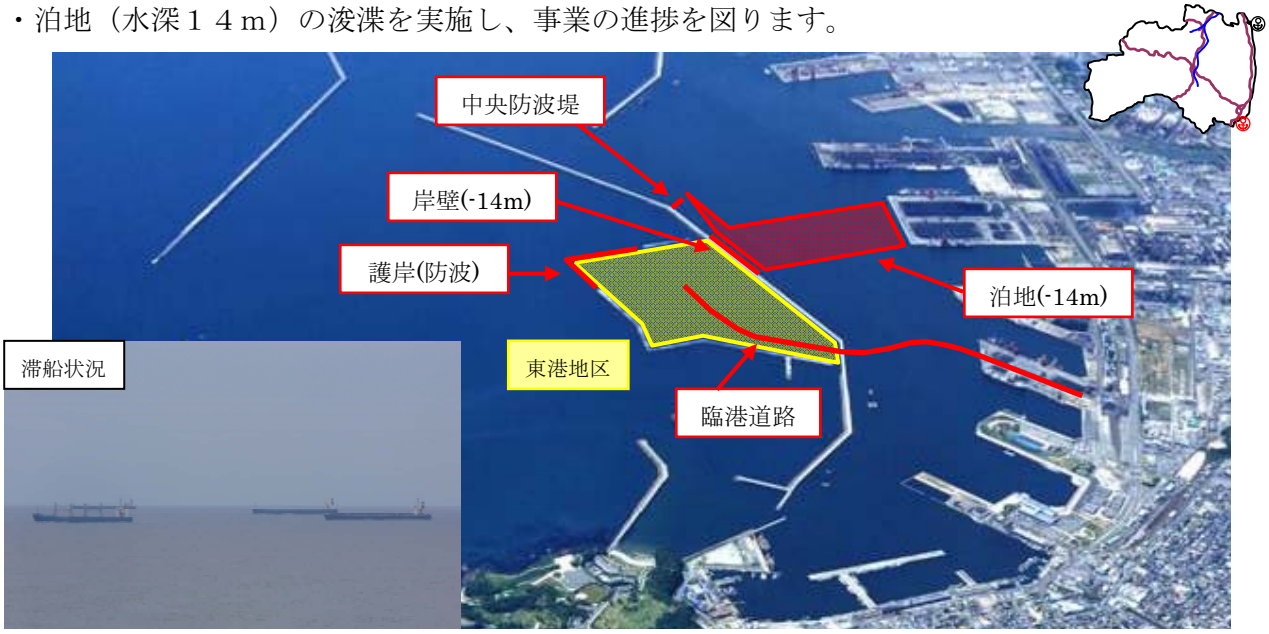
事　業　効　果

○情報BOXに収容されている光ケーブルの信頼性が向上します。

● 小名浜港　東港地区多目的国際ターミナル整備事業（直轄）

【補正事業費：１，０００百万円、完成・供用目標：平成２５年度】

・泊地（水深１４ｍ）の浚渫を実施し、事業の進捗を図ります。



補正予算の投入効果

・補正予算を投入することで、多目的国際ターミナルの整備進捗を図り、滞船の解消や増加する貨物へ対応するなど安定した荷役を確保します。